

方 策	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 27 年度 (22 年度比) 削減効果
	(1)事業所における資源物分別の徹底	前年度比	事業所啓発 170t 削減	ピット前調査 強化 650t 削減	ピット前調査 強化 650t 削減	ピット前調査 強化 650t 削減	ピット前調査 強化 650t 削減
(2)事業所における生ごみ資源化の促進							
ア 多量排出事業所における生ごみ資源化の促進	前年度比	事業所啓発 準備 120t 削減	資源化開始 120t 削減	270t 削減	220t 削減	250t 削減	860t
イ 飲食業等中小規模事業所における生ごみ資源化の 促進		制度の検討	→	(制度実施)	-----→	4,370t	4,370t
(3)商店街における減量化、資源化の促進		施策の検討					
(4)事業所、商店街に対するごみ減量化、資源化の啓発		←				→	
平成 22 年度比削減量		170t	940t	1,860t	2,730t	8,000t	8,000t

方 策	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 27 年度 (22 年度比) 削減効果
	その他の二み減量化、資源化の方策	リデュース(発生抑制)の推進	←				→
リユース(再使用)の推進		←				→	
リサイクル(再生利用)の推進－資源化品目の拡大							
ア 布団		保管場所の確保・準備	資源化開始 100t削減			→	100t
イ 畳		保管場所の確保・準備	資源化開始 30t削減			→	30t
ウ 木質廃材		保管場所の確保・準備	資源化開始 100t削減			→	100t
エ 植木剪定材(竹、笹、シュロ類)		資源化開始 240t削減				→	240t
オ 紙おむつ		設備設置場所の選定 前年度比	1 台設置(市有地) 155t削減	1 台設置(福祉施設) 220t削減	1 台増設(市有地) 155t削減		530t
	平成 22 年度比削減量	240t	625t	845t	1,000t	1,000t	1,000t

方 策		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 27 年度 (22 年度比) 削減効果
		制度としての ごみ減量化誘導 方策の実施	(1)家庭の燃やすごみの戸別収集			説明・周知 モデル地区 (4月:2,000世帯 予定) モデル地区 (10月:20,000世帯 予定)		
(1)家庭系ごみの有料化					説明・周知 全市実施 10月予定			
(2)事業系ごみ処理手数料の改定	検討				説明会・周知			
(3)処理槽付きディスプレイの普及促進	(開発手続条 例改定)					有料化実施 (3,800t)削減		(3,800t)
						(条例改定)	700t	700t
市民、事業者、 行政が一丸と なった取組の 推進	(1)(仮)「鎌倉のごみ未来を考え行動する市民会 議」の創設	設置 活動						
平成 22 年度比削減量							700t	700t
平成 22 年度比削減量合計		647t	2,041t	3,622t	5,088t (8,888t)	11,500t (15,300t)	11,500t (15,300t)	